

News Release

Bangladesh初の都市鉄道（MRT6号線）計16駅が開通

- 交通渋滞・大気汚染等の社会課題解決に貢献 -

ID&E ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表執行役社長：新屋浩明）傘下の日本工営株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：金井晴彦、以下「日本工営」）が事業に参画している Bangladesh国ダッカ都市鉄道（MRT: Mass Rapid Transit 6号線）の16駅・20km（当初スコープ区間）が2023年11月4日に開業しました。

ダッカ MRT6号線は、交通渋滞・大気汚染等の社会課題を解決する最優先路線として位置づけられ、Bangladesh初の本格都市鉄道として2014年から整備が開始されました。同路線は、日本工営としてもBangladeshで最初に手掛けた MRT 事業であり、整備開始の2014年から同路線の事業全体（土木・建築・電気・軌道・信号・通信、車両）を対象に、基本計画、設計、運営組織設計、工事中の施工監理、開業前トレーニングまでのコンサルタント業務を行ってきました。

同路線は最初の運行路線として、2022年12月末にウトラ北駅からアガルガオン駅の9駅を結ぶ11.7kmの区間が開業し、毎日10万人近くの乗客が利用しています。この度、アガルガオン駅からモティジュール駅までの7駅・9km区間が開業し、当初スコープで定めていた区間全て開通したことになります。この開業を記念し、11月4日に首都ダッカでハシナ首相などが参席の開業式典が行われました。今回の開業で、現在渋滞などにより車で2時間以上を要する移動が約35分に短縮されます。

また、同路線は更なる利便性の向上を目指し、モティジュール駅から1駅延伸し Bangladesh国鉄中央駅(カマルプール駅)に接続させることが2019年に決定し、現在建設中です。カマルプール駅への延伸は2025年中を見込んでいます。

日本工営は今後とも総合建設コンサルタントの強みを活かし、Bangladesh国の持続的な経済成長および SDGs が目指す持続可能な社会の実現に一層貢献していきます。



4日に行われた開業式典の様子



ウトラ中央駅- ウトラ南駅間を走行中の6号線

▼事業概要

案件名称	ダッカ都市交通整備事業（6号線）
発注者	ダッカ都市交通会社（Dhaka Mass Transit Company Limited : DMTCL）
サービス概要	基本設計・詳細設計・入札支援・施工監理・運営アドバイザー
業務体制	6社JV： 1.日本工営株式会社（幹事） 2.Nippon Koei India Private Limited（インド） 3.Delhi Metro Rail Corporation Ltd.(インド) 4.Mott MacDonald Group Ltd.(英国) 5.Mott MacDonald Private Limited(インド) 6.Development Design Consultants Ltd.(バングラデシュ)
サービス期間	2014年2月-2025年12月(142ヶ月)

ご参考：日本工営が実施しているダッカ市都市鉄道整備案件

- ・ダッカ都市交通整備事業(6号線) 基本設計・詳細設計・入札支援・施工監理・運営アドバイザー業務
- ・ダッカ都市交通整備事業(1号線) 基本設計・詳細設計・入札支援・施工監理業務
- ・ダッカ都市交通整備事業(5号北線) 基本設計・詳細設計・入札支援・施工監理業務

—本件に関するお問い合わせ先—

ID&E ホールディングス株式会社 経営管理本部 コーポレートコミュニケーション室
TEL :03-5276-2454 Email : c-com@n-koei.co.jp ホームページ : <https://www.id-and-e-hd.co.jp/>